

こんにちは、ふじみ薬局の高橋のぶとです。

前回、我が子の誕生をこの場を借りてご報告させて頂きましたところ、多くの方からお祝いの品、祝福のお言葉を頂きました。誠にありがとうございました。そんなうちの希実(のぞみ)ちゃんはずいぶん大きくなりました。誠にありがとうございます。ムクムク体重増加してすくすくと育っています。

さて、赤ちゃんをすくすく育てるのは母乳がわかず、母乳の原料は血液であることはご存知でしょうか？(赤い血が白い母乳に変わってな人が不思議ですよね)ですから、母乳が少ない場合には血液を増やすことも解決方法のひとつです。

では、血液の原料は？・・・そうです！アミノ酸です。アミノ酸はタンパク質が分解されたものなので、タンパク質である肉・魚・卵を食べる、というのも良いですが、しかし消化吸収があまり良くないので理想の量を摂るのはなかなか難しいのです。大豆は畑の肉と言われるようにタンパク質が豊富な食品です。大豆が原料であるみそは消化も良いので、みそ汁は特におすすです。日本食は本当にすばらしいですね。

それでもダメなら、アミノ酸を補給する医薬品や漢方薬を飲みましょう。ちなみに、アミノ酸を補給するドリンクと言っても、スポーツドリンクのような「アミノ酸配合スポーツドリンク」のようなものはダメです。目的が全く違いますのでご注意ください。はたまたアミノ酸の補給医薬品でも品質や安全性はまちろん、効き目にも差があるので、これまたご用心。言わずもがな漢方薬は体質によって適する薬方が変わりますから見極める必要があります。ちなみに妻の場合は脾虚(消化能力が弱め)もあるので、血液を増やす生薬に加え、朝鮮人参の入った漢方薬を中心に飲んでいきます。母子ともに健康。健康って大事ですね、しみじみ。

【原因不明のその症状、もしかして脳過敏症候群かも! ?】

めまい・耳鳴り・突発性難聴・メニエル病・不眠・イライラ・うつ・アルツハイマー病・認知症・ADHD(注意欠如・多動性障害)・パニック障害など、これらの病気は西洋医学的にはまだまだ不明な点が多く、ほとんどが『原因不明』とされてきました。が、実は、これらの病気・症状には、ある**ひとつの共通点**がある、という革新的な発表がありました。

それは、『**脳**』が深く関係しているということ。

東洋医学では当たり前の捉え方ですが、西洋医学でもそう考えられるようになってきたというのは喜ばしいことです。今まで病院で対応できずにビタミン剤とか血流を云々する薬をゴマカシゴマカシ飲んでいて一向に治らない方には福音になりえる話だと想います。

※上記のご病気・疾患で病院に行っても治らないお知り合いの方がいらっしゃったら教えてあげてください。それだけでも希望になります。

さて、これらの『**脳**』や『**神経**』が関係しているような病気でお悩みの方はとても多いです。悩みを抱えて病院へ行った拳句が『**自律神経失調**』だとか『**ストレス**』が**原因**と言われてしまう。

そういった病気・症状に関して西洋医学は無力です。

原因がよくわからないので、処方される薬は精神薬(麻酔みたいなもの)です。これで一時的にしのけても、もちろん根本的な治療にはなりません。むしろ副作用が心配ですよね。(だからと言って病院で処方されている薬は**独断で中止しない**ようにしてくださいね)

冒頭に列挙された病気・症状は**脳の異常興奮**によるものが大きい、ということでした。**脳の異常興奮**ということは脳の**神経細胞のバランス悪**くなってしまったということです。だったら**神経細胞をキレイに生まれ変わらせてあげれば**いいのです。これが**原因療法**です。神経細胞を元気にするには**ホスファチジルセリン**が必要です。これは体内では合成されない栄養=外から摂取しなければいけない**栄養** ですので、意識した食事をしないとどうしても不足しがちです。**ホスファチジルセリン**は牛肉や大豆に多く含まれています。が、とても吸収されにくい形状なのが惜しいところです。

逆に脳に悪い食品もあります。マーガリンやスナック菓子、パンに多く含まれる**トランス脂肪酸**です。**脳の60%は油**でできています。良い油を摂れば良い脳に、悪い油を摂れば悪い脳になります。かんたんなことですね。

病院に行っても治らない=治す手段が無い ではありません。東洋医学の**治療**をすれば何十年と苦しんだ**ご病気**が治るのはよくあることです。

諦める前にご相談ください(^u^) ♪054-253-5963

<漢方薬をテレビで特集>

『今でしょ!』でおなじみの林修先生が司会のテレビ番組で漢方薬が特集されていました。

漢方薬を臨床で使って治療に役立っている医師が、**風邪・冷え性・関節痛**には漢方薬の方が**効く**、と説明していました。病気ごとに1つ代表的な薬方(風邪の時は葛根湯)の説明もしていましたが、これを見た方は「あ、じゃあ風邪のときは葛根湯飲めばいいんだ!」となってしまうのでは?という不安がよぎりました。

風邪にも性質がいろいろあるので、葛根湯で治る風邪はその一部なのにな。。

さらには、肩こり・がんに漢方薬は効かないと豪語していました。これはさすがに聞き捨てならない!! **実際漢方薬で改善している方がたくさんいるのに~!!**

う~ん、近藤誠氏の著書中の漢方薬の話(ツムラが出てきます)とな~んか似てるなあ。。アツイ

患者さんに向ける想いや志などは非常にすばらしく、話し方もうまいだけに、ちょっと残念でした。まあ、テレビショーのエンターテイメントですから、そんなに鼻息荒くする必要もないのですけどね。みなさん、こういう健康番組は話半分**以下**で楽しんでみてくださいね(^ω^)

番組中に出てきた漢方薬の中にも体質に合わない大変なことになる漢方薬がありました。

が、自分に合っているかどうか、それを見極めるのはとても難しいです。ドラッグストアにも売っていますが、必ず専門家に相談してからにしてくださいね。